



## 自分にあった進路選択〔高校選び〕

1年生の自然教室、2年生の職場体験も終わり、今週からは全学年そろって通常の学校生活が始まります。

さて、3年生にとって二学期はとても大切な学期です。それは、いよいよ自分の進路を決めていかなければならない学期だからです。大きな学校行事もたくさんありますから、一人ひとりが自覚して学校生活を過ごす必要があります。

今回は、進学する学校(高校)を選ぶための流れとポイントを紹介します。

[引用：自分にあった高校選びと夏休みの勉強法がわかる本(ベネッセ)]

1・2年生の保護者の皆さまも、是非、一読ください。



### 【合格のためのスケジュール】

#### ■3年1学期～2学期■

○学校での学習(授業)を大切に

県立高校を受験する場合、入試に出題されるのは学習指導要領に書かれている内容です。学校の授業も、この学習指導要領に則って行っています。学校の授業そのものが、受験勉強になります。しっかりと取り組みましょう。

受験対策ということでいえば、1・2年、3年1学期の学習内容の復習も必要になります。「新研究」を大いに活用し、今までの学習内容の復習に取り組みましょう。また、学力テストを活用し、できていない部分を重点的に復習することも大切です。

○定期テスト対策を万全に

調査書(内申書)には、中学校での学習成績(評定)が記載されます。特に、3年次の成績(評定)はウエイトが大きいです。しっかりと授業に集中し、家庭学習(テスト勉強)に取り組みましょう。

#### ■3年2学期末■

○三者面談では、私立高校の受験や公立高校の推薦入試受験を決定

2学期末の三者面談では、受験する高校を決めていきます。面談前に、生徒・保護者で希望を相談しておください。進路決定はあくまでも生徒の考えが第一です。保護者の方の考えや学校の助言を基に、生徒自らが決定していきます。

県立高校を一般受験する場合は、最終決定は2月の三者面談ですが、私立高校等を受験する場合はそれよりも早く決定する必要があります。

#### ■3年3学期■

○受験する高校にあわせて集中的に対策(学習)

志望校の出題傾向(過去の入試問題)にあわせた学習に取り組みましょう。作文や面接等のある学校の場合は、その対策も早めに取り組みましょう。

## ○本番にあわせた体調管理

受験勉強で生活が夜型になっている人は、入試の1ヶ月前からは入試の開始時間にあわせて必ず朝型に戻しましょう。うがい、手洗い、風邪対策も万全に。この時期の体調管理は非常に大切です。

## 【本当に自分にあった高校の見つけ方】

### ■条件で考える■

#### ○進学・就職実績&カリキュラムをチェック

専門学科(国際交流科、教養理学科、機械科、土木科、情報経営科等)では、早期から進路を見据えて専門的な教科の学習が始まります。また、希望する進路が変わった場合、変更が困難で進路の選択肢を狭めてしまう可能性もあります。高校のカリキュラム(教育課程)や卒業生の進路先等を確認し、自分の希望とあっているかを考えましょう。

#### ○部活動をチェック

希望する部の有無だけでなく、練習日・時間、施設の充実度など活動実態まで把握しておきましょう。

#### ○お金をチェック

高校は義務教育ではありませんので、授業料が必要になります。助成金(減免)の制度がありますので、入学後に、必ず手続きをしてください。また、授業料以外にも、教科書代・教材費、施設維持費や通学代(交通費)、部活動の費用等もかかります。義務教育に比べ、高額になる場合もありますので説明会等で確認しましょう。

#### ○通学手段をチェック

3年間、毎日通う場所なので、通学の負荷は予想以上です。3年間の通学が負担にならないように、考えておきましょう。また、好天時だけでなく雨天等の場合の通学手段についても考えておく必要があります。

### ■最後は自分の目で確認■

#### ○気になったことは体験学習・学校説明会で直接確認を!

体験学習・学校説明会には、ぜひ参加し、気になる点を直接確認しましょう。生徒とは異なる観点でチェックしてもらうために、保護者の方も積極的に参加してください。

体験学習等に参加する場合は、中学校にあるパンフレットや高校のホームページなどに事前に目を通し、詳しく知りたいことや疑問点をメモしておきましょう。

#### ○体験学習等でのチェックポイント

- 部活動の内容や盛り上がり具合
- 進路指導方針と卒業後の進路、進学・就職等の実績
- 授業料や諸経費、通学定期代など入学後にかかる費用
- 通学時間帯の乗り継ぎや混雑具合
- 生徒の身だしなみや雰囲気、学校行事のようす
- 生徒と先生の関係、先生の面倒見のよさ



## 【最後に】

自分の将来にとって非常に大切なこの時期、納得できる高校選びでやる気を引き上げ、合格を目指しましょう。「絶対にこの高校に行きたい!」と思える高校を見つけることは、学習の大きなモチベーションになります。実際、「この高校に行きたい」という目標ができたあと、成績が伸びた先輩がたくさんいます。